

「花尾小学校の岩戸疱瘡踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島市立花尾小学校
2. 学年・人数	2年生から6年生 12人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月30日, 11月7・20日, 12月4日 花尾小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年12月6日 花尾っ子フェスタ 花尾小学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事, 伝統工芸品について	(1) 名 称 鹿児島市指定文化財 岩戸疱瘡踊り（いわどほうそうおどり） (2) 由 来 藩政時代に恐ろしい伝染病である天然痘が蔓延した際, その予防と早い治癒を願って踊った。真剣な祈りの心が込められた優雅な踊りである。天然痘が絶滅し, 一時途絶えていたが, 終戦後に復活した。 (3) 構成等 先踊り, シベ踊り, 後踊りで構成。先踊りは, 手踊り, 太鼓打ちと太鼓持ちで, 三味線に合わせて踊り, 手踊りの中に傘踊りも入る。シベ踊りは, 黒装束の大シベ持ちを先頭に手ぬぐいを被った踊り子がつく。踊り子は小シベを持ち, 横三列でシベ踊りをする。シベを配ったり, 集めたりするのは, ひょっとこ面を被ったさっきょんである。後踊りは, 踊り子が円になって踊り, 大シベ持ちは円の中に入る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	総合的な学習の時間に, 地域のよさに気づき, 伝承していくことの大切さを自分事として受け止め, よりよい解決を目指して行動する一連の探究活動の過程に, 練習（体験活動）を位置付けた。発表前には, 昼休み時間を活用し自主的に練習した。必要な用具は, 保存会から借用している。3年生から6年生まで4年間実践することで, 高学年が新しく学ぶ3年生に指導することができるようになる。このことも学校のよい伝統となってきた。 2015（平成27）年度までは, 3年生以上の女子が踊りだけを披露していたが, 本来の形である太鼓踊りも復活させたいという地域の願いから, 平成28年度から3年生以上の男子が太鼓踊りを担当した。今年度は児童数の減少で2年生児童も参加し, 花尾っ子フェスタで保護者および地域の方々の前で披露することができた。
6. 取組の様子（練習状況, 発表の場等）	 地域の方に教わり練習  花尾っ子フェスタで披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 疱瘡踊りは, 花尾っ子フェスタで, 一番に踊ります。傘や扇子, たいこで様々な踊りを発表しました。まだまだ受け継いでいってほしいです。 【保存会】 ・ 高齢化が進み地域としては継承活動に行き詰っているのですが, 年上の子が年下の子に教えながら, 継承してくれているのがうれしい。